

## 星間物質に関するオンラインサマースクールに参加して

物理学専攻 博士3年 大西崇介

2021年7月12日～7月23日の間、フランス天文グループ PCMI, PNCG が開催する “International Summer School on the Interstellar Medium of Galaxies from the Epoch of Reionization to the Milky Way” において、オンライン連続講義を受講した。講義は Gary Ferland 教授をはじめとして、星間物質の理論、観測研究を最前線で行う教授陣によって行われた。また、講義では、銀河における星間物質について、理論、観測、数値計算の側面から 14 の講義が行われた。

講義の中でも、紫外線光子による分子ガスの解離、加熱機構を扱う、光解離領域 (Photo-dissociation region; PDR) モデルは、銀河におけるガス加熱機構として注目されているモデルであり、私の研究対象である、活動銀河核分子トラスにおける加熱機構とも関わりが深い。PDR モデルの計算コードとして広く用いられている Cloudy コードの開発者である Gary Ferland 教授をはじめとして、最前線で研究を行う講師陣による一連の講義は、今後の研究における考察の際に、大いに役立ちそうである。現地で講義を受けられなかったのは残念ではあるが、気軽に Slack を介して質問ができるなど、オンラインならではの良さもあり、実りのあるコースワークだった。

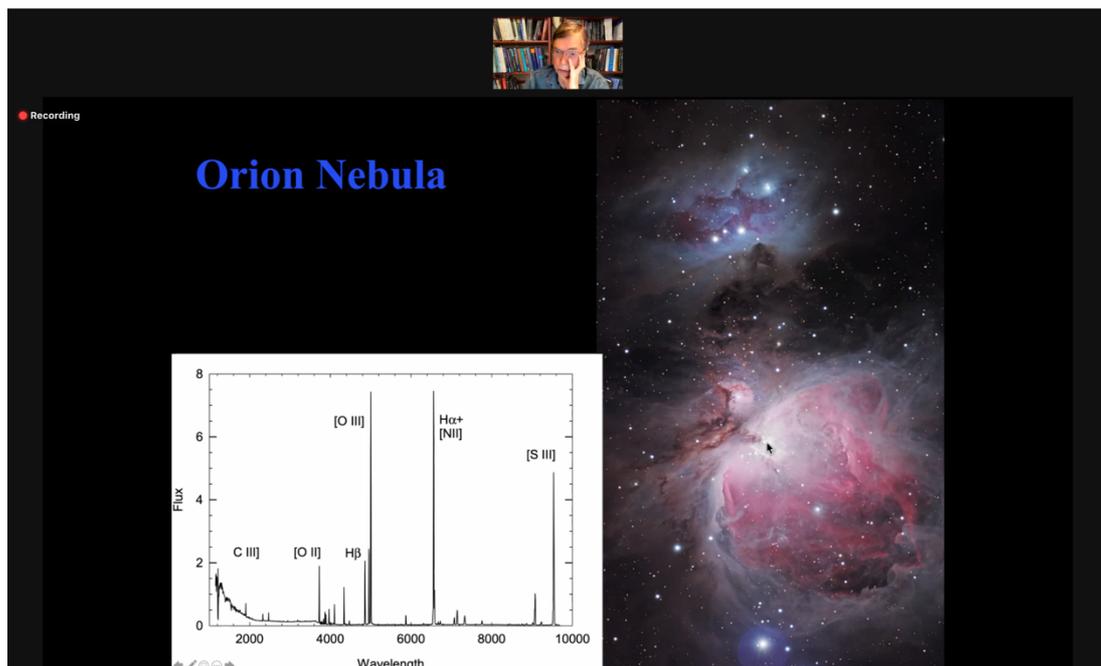


図 1: Ferland 教授による授業の一場面